

## 重要な注意事項

2010年5月26日

- ・ 本レポートは、投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。業績等は今後急激に変化する場合がございます。投資判断はお客様ご自身でお願いいたします。
- ・ 本レポートは信頼できると思われる資料を元に作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本レポートに記載された意見や予測は作成時での当社の見通しであり、今後予告なしに変更される場合があります。
- ・ 株式には株価の下落や発行者の信用状況の悪化などから、投資元本を割り込むことがあります。外国株式は為替の変動により損失が生じるおそれがあります。
- ・ 国内株式の売買取引には、最大手数料は 5000 万円超の約定代金に対して一律 229,005 円（税込み）が必要となります。（ただし約定代金に応じ手数料は変わります。手数料金額が 2,500 円に満たない場合は最小手数料として 2,625 円（税込み）となります。）保護預り口座管理料は 0 円です。
- ・ 本レポートは当社に著作権があり、事前の承諾なしに、本レポートの全部または一部を引用または複製、転送することを禁じます。

### 当社の概要

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 商号等   | 三木証券株式会社 金融商品取引業者          |
| 登録番号  | 関東財務局長（金商） 第 172 号         |
| 加入協会  | 日本証券業協会                    |
| 本店所在地 | 〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-20-9 |
| 資本金   | 5 億円                       |
| 主な事業  | 金融商品取引業                    |
| 設立年月  | 昭和 17 年 12 月               |



## MIKI Monthly Topic

### — 電子書籍 —

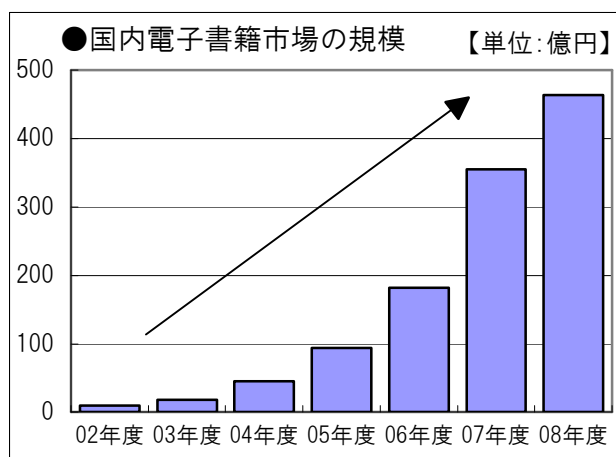
#### 【2010年は電子書籍元年】

2010年の国内書籍市場は「電子書籍元年」になりそうだ。「紙」ではなく「画面」で読む本である電子書籍は、電子書籍リーダーと呼ばれる端末などが必要であるが、2009年10月にアマゾン社（米国）の電子書籍リーダー「kindle（キンドル）」が日本に上陸したほか、2010年5月28日にはアップル社（米国）が電子書籍リーダーの機能を持つタブレット型PC「iPad（アイパッド）」を発売する予定であるからだ。

過去を振り返ると、2004年に世界に先駆けてソニーとパナソニックが国内で電子書籍リーダーを発売したが、価格が高かったことや、紙の書籍市場を守ろうとする出版業界の抵抗があったことなどから、普及に至らなかった経緯がある。だが、今回は、以前と異なり電子書籍リーダーの価格低下や性能向上が進んだ中で、書籍の電子化で先行する米国メーカーの電子書籍リーダーが上陸し、出版業界も電子書籍ビジネスを無視できなくなってきた。ただ、現行制度では、書籍の電子化の許諾権は著作者が持っているため、アマゾン社などが著作者と交渉し、電子書籍の出版権を得ると、その本を最初に世に送り出した出版社は打つ術がないという。こうした問題を解決するため、出版31社は2010年2月に「日本電子書籍出版社協会」を設立。同協会は、問題点を経済産業省などと協議し、出版社の活躍できる電子書籍市場を作り、少しずつ盛り上げていこうとしている。

#### 【日本の電子書籍市場は着実に成長】

国内の電子書籍市場は、米国に比べ遅れをとったが着実に成長している。出版やデジタル関係の調査を手掛けるインプレスR&D社が2009年7月に公表した調査によると、日本の2008年度の電子書籍市場は推計で464億円と2005年の94億円から約5倍に拡大。2006年以降、市場を牽引したのは携帯電話向け電子書籍



市場で、2008年度では全体の86%を携帯電話向けが占めた一方、PC向け電子書籍市場は、2008年度が62億円と2005年度の48億円からあまり増えていないという。しかし、今後はキンドルやアイパッドなどの新しいプラットフォームの普及により、PC向け電子書籍市

場は拡大に向かうと予想される。また、アイパッドのような話題性のある電子書籍リーダー機能を持つ端末が登場することで、コンテンツの拡充も促進されると見られ、電子書籍市場が今後5年以内に3000億円に達するとの予測もある。

### 【コンテンツは充実へ】

電子書籍が紙媒体の書籍と完全に置き換わることはないものの、「電子書店で買った本を電子書籍リーダーで読む」時代は着実に近づいている。2010年6月23日にジャスダック証券取引所に上場する予定の「パピレス」。社名のパピレスは、紙（パピルス）が不要（レス）を意味し、文字通り電子書店を運営する会社だ。同社は、400社以上の出版社から電子書籍を収集し、携帯電話やパソコンなどに配信。また、アイパッドが発売される5月28日からはアイパッド向けの電子書籍の配信も始める予定だ。同社の売上高を見ると、2005年3月期の5億7343万円から2009年3月期には33億8810万円に成長。約2兆円規模を誇る出版市場の中で電子書籍市場はまだまだ小さい存在だが、同社の売上高の推移からも「電子書店で本を買う」という人が着実に増えていることがわかる。

また、インターネット検索大手のグーグル社（米国）は、電子書籍の有料配信サービス「グーグル・エディション」を米国で2010年6月末、今夏から今秋にかけて日本を含む10カ国で始める予定。同社は既に1200万冊を電子書籍化し、出版社の同意を得た作品から有料配信に乗り出す。料金は出版社が設定できる仕組みで、日本では当初、出版社の抵抗も強かったが、今では複数の大手出版社が前向きになっているという。また、同社のサービスは、他社とは異なり閲覧する電子書籍リーダーを選ばないのが大きな特徴。そのため、電子書籍リーダーで首位の「キンドル」を手掛けるアマゾン社は、これまでキンドル向けに電子書籍の配信をしてきたが、パソコンの画面で電子書籍を読み出すソフトの無償供給を2009年11月から始め、グーグル社のサービスに警戒姿勢を見せている。グーグル社などが電子書籍市場に参入することで、競争促進が図られるとともに利便性なども向上し、電子書籍市場の成長が早まると予想される。

### ●電子書籍のコンテンツに関する事業を展開する主な企業

| 企業名               | 各社が展開する電子書籍コンテンツ関連の事業   |
|-------------------|---|
| パピレス<br>(3641)    | 電子書籍の配信のほか、電子書籍の配信システムや受注製作なども手掛ける。ネット広告のオプト（2389）が14.65%を出資している。                           |
| デジタルハーツ<br>(3620) | 2010年5月17日、書籍を電子化し配信するためのサポート業務（多言語配信に向けての翻訳や、文字・画像のデータを編集し1つのタイトルとしてまとめるオーサリングなど）を開始すると発表。 |
| インフォコム<br>(4348)  | 携帯電話向けに電子書籍を配信する「めちゃコミックス」と「めちゃボックス」を展開。  |
| D I C<br>(4631)   | 傘下のCHIグループの丸善と、図書館向けに、本を電子化しネットを通じて貸し出せるようにするサービスを今夏頃に始める予定。                                |

### 【電子書籍リーダー市場もにぎやかに】

電子書籍が急拡大している米国では、電子書籍リーダーの競争が激しくなっている。米国の調査会社ガートナーは、2010年に電子書籍リーダーは普及期を迎え、年末商戦でブームが到来すると予測。また、アイソプライ社も、世界の電子書籍リーダー市場が2008年の110万台から2013年には2200万台まで急成長すると予想している。このように米国を中心に拡大が見込まれる電子書籍リーダーであるが、米国におけるシェアはアマゾン社の「キンドル」が約60%、ソニーの「リーダー」が約35%を握っている。これに対し、音楽配信で成功を収めたアップル社が、タブレット型PCの「アイパッド」を4月3日に発売（日本での発売は5月28日）。発売から28日間で100万台を突破し、需要が供給を上回っている状態だという。また、書籍チェーン最大手のバーンズ・アンド・ノーブル社（米国）が2009年10月に電子書籍リーダー「Nook（ヌック）」を発売したほか、液晶テレビで世界最大手のサムスン電子（韓国）も、2010年3月に「E6」で参入した。

電子書籍リーダーの競争激化の波は、今後の成長が見込まれる日本市場でも巻き起こりつつある。冒頭で2009年10月にアマゾン社の「キンドル」が上陸し、2010年5月28日にはアップル社の「アイパッド」が発売されることを紹介したが、ソニーやシャープ、NECなどが国内での販売に向け準備を進めている。

#### ●電子書籍リーダーに関連する主な日本企業

| 企業名              | 電子書籍リーダーを巡る動き  |
|------------------|--|
| ブリヂストン<br>(5108) | 電子書籍向け電子ペーパー事業の本格展開を開始。デルタエレクトロニクス社（台湾）が同社の電子ペーパーを搭載した電子書籍リーダーを2010年中旬に発売する予定。また、同社は、商品化は未定であるものの、折り曲げられるタイプなど2種類の電子書籍リーダーを開発した。 |
| NEC<br>(6701)    | 2010年夏頃に国内で電子書籍リーダー機能を搭載した電子端末を発売予定。子会社がゲームの配信などのサービスを来年から始める予定で、2013年3月期に端末とサービスを合わせた売上高100億円を目指す。                              |
| シャープ<br>(6753)   | 5月に発売した電子端末「NetWalker」に電子書籍リーダー機能を搭載。実用書や文学作品など約100作品の電子書籍をプリインストールしたほか、専門の販売サイトを通じて追加購入も可能。                                     |
| ソニー<br>(6758)    | 米国で電子書籍リーダー「リーダー」を展開。2009年12月に発売した3Gワイヤレス通信モデルが好調に推移しているもよう。2012年に世界シェア40%を目指し、国内市場への再挑戦もあり得るとしている。                              |

26/May/2010

このレポートは投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。投資判断はお客様ご自身でお願いします。